

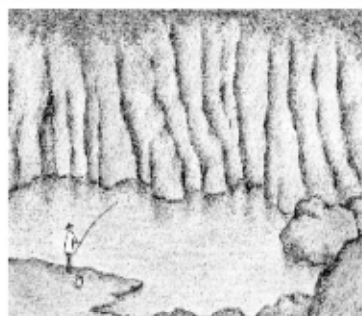
[今日の詩編]

第25篇

あなたに望みをおき、

無婚でまっすぐなら

そのことがわたしを守ってくれるでしょう。



神の家とは

パウロはエフェソの教会で教えていたテモテに手紙を書きました。テモテは、この人を見てると、イエスさまを信じているパウロの生き方を思い起こさせてくれる、そういう人でした。

皆さんにも、テモテのような人がおられるかもしれません。自分もこの人になりたいと思って教会に来て、洗礼を受けようと思った。教会に来ている人は、どこか違うところがあります。何が違うのでしょうか。

パウロが手紙を書いたのは、エフェソの教会に問題があったからです。そのためパウロは、教会でどのように生活すべきかについて、テモテに書き送りました。

そこで最も大事なことから、手紙の真ん中に書いたのは、神の家についてでした。神の家とは教会のこと。教会は、神さまの生きておられるところです。そして教会は真理の柱と土台です。でも、教会はどのようにして真理を支える柱や土台となることができるのでしょうか。

パウロは「信心の秘められた真理」について教えてくださいました。信心の秘められた真理とは、キリストのことです。

キリストはわたしたちと同じ人間となってくださいました。わたしたちが教会でも家でも愛に生きられないこと、それが罪のためであることをまことに知っておられた神さまは、キリストの肉において、罪を処罰して、わたしたちが本当に生きられるようにしてくださったのです。

そしてキリストは復活されました。「霊において義とされ」というのは、神さまがキリストを復活させられたということです。

でも、同時にこれは、わたしたちも義としていただいたということなのです。義というのは、神さまと仲直りさせていただいたということ。罪を滅ぼしてくださった神さまは、もう一度生きてごらんと、命を与え、聖霊を注いで、わたしたちを生かしてくださるのです。

だからパウロは言います。「異邦人たちの間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた」。わたしたちが再び命を与えられたのは、このキリストを宣べ伝えて、世界中の人たちが信じられるようになるためです。

これが、教会に生きる人の生き方です。教会に行っている人がどこか違うところがあるのは、その人が、自分の力でなく、聖霊をいただいて生かされているからです。イエスさまと共に生きているからです。その人は、自分の救いのためでなく、人が救われるために生きるようになります。

だから、皆さんのことを見て、わたしもこの人のように生きたいと思って、教会にやってくる人が現れるのです。こんな自分がと思うかもしれません。でも、聖霊は確かにあなたの内におられます。聖霊はわたしたちの思う通りには働かれません。でも、わたしたちの思いをはるかに超えた仕方であられるのです。

(一テモテ3・14～16)

《 今日の礼拝 》

2022年7月31日(日)

夏季礼拝(9時30分より)

司式 菊池 美穂子 副牧師

聖餐司式 苗 允泥 牧師 ・ 菊池 美穂子 副牧師

○前奏 「わが主のみ業は、ことごと正し」

J.G.ファン

○讃美 讃美歌21 205番(1、5節)

○十戒

○告白の祈り

○奉獻頌

○使徒信条

○牧会の祈り

○上の祈り

○聖書朗読 IIコリント6章1～10節(新約P.331)

○説教 「今日はあなたの救いの日」

吉村 和雄 名誉牧師

○讃美 雄々しくあれ(1、2節)

○聖餐 「わが魂よ、装いせよ」 F.ピーカス

○報告

○頌栄

○派遣の言葉

○祝福

○後奏 「バジャント」 E.P.ジョスト

《 今日のお知らせ 》

○今日から8月28日までの夏季期間は一回礼拝です。

○昨日30日(土)に、教会員の日比野涼兄の結婚式が礼拝堂で行われました。

○今週5日(金)午後2時より、森洋之兄の葬式が礼拝堂で行なわれます。インターネットでの配信も行う予定です。

○明日から夏季バイブルスクールが始まります。お申込みされた方は創世記1～3章をお読みの上、ご参加ください。以下、今週の予定です。

・8月1～3日 午後7時半より(A-2)

「創世記の始めを語る」(地下ホール)

・8月2日 午前10時半より(A-1)

「創世記の初めを語る」(地下ホール)

《 次週の礼拝 》

夏季礼拝(午前9時30分)

讃美歌 山も野辺も空も 丘の上の教会へ

説教 「主が治められる」

聖書 士師記8章22～23節

説教者 宮間 彰広 兄

